

野球 第100回全国高校野球選手権記念滋賀大会

1回戦 彦根東 12 — 0 大津

100

回目の夏、開幕

TEAM	一	二	三	四	五	R
大津	0	0	0	0	0	0
彦根東	1	1	5	5	X	12

5回コールド勝利



4回裏、力強いスイングで適時打を放つ朝日君

3季連続甲子園へ

7月12日に県立彦根球場で第100回全国高等学校野球選手権記念滋賀大会の1回戦が行われた。本校は大津高校と対戦し12—0と5回コールドで勝利した。

弾みをつける



▲先発の増居君は落ち着いた投球を見せた。

試合が動いたのは1回裏の本校の攻撃。二死一塁から、相手の守備の乱れによって走者が還り1点を先制した。2回裏、一死一塁から9番山岡右京君（2—5）がレフトの頭を越える適時二塁打を放ち2—0とリードを広げた。続く3回裏、二死走者なしの状態でから四球と相手のエラーで走者一、二塁となり山岡君が2打席連続となる適時二塁打を放ち1点を加えた。さらにこの回1番朝日晴人君（3—4）が適時二塁打を、3番原功征君（3—6）がタイムリーヒットをそれぞれ放ち、この回一挙5点を挙げた。なおも本校の攻撃は止まらず、4回裏には朝日君の2打席連続となる適時二塁打を含む打者一巡の猛攻で5得点を挙げ12—0と突き放した。守備面では、先発の増居翔太君（3—5）、2番手の嶋崎詠君（3—5）の継投で相手打線を2安打に抑えた。

主将の高内希君（3—6）

は「前半は緊張していて硬さもあったが、後半は自分たちのペースでプレーできた」とこの試合を振り返り「最後の大会だから笑顔で元気に率先して動くことを意識した」と話した。2本の適時打を放ち4打点を挙げた朝日君は「練習試合ではチャンスで打つことができなかったが、両親に励まされたり試合前に高内に落ち着いてと後押しされたりしたので今回の試合は打てた」と笑顔を見せた。山岡君は2本の適時二塁打を放ったことについて「自分の後に良いバッターが控えていたので楽に打てた」と明かし「今後も相手の勢いに負けないように一戦一戦頑張りたい」と意気込んだ。この試合に先発し好投を見せた増居君は「初戦の緊張感もあって腕を振っている割に球が良くないことがあった。体の調子を整えて良い意味で力を抜いて投げられるようにしたい」とコメントした。監督の村中隆之先生は「上出来だったが、モタモタしたりバットを振れなかったりしたところがあったのでしっかりと調整したい。甲子園に出場することもあるが、今はチームを完成させていきたい」と目標を掲げられた。



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号